

京 都 大 学

教 育 学 部 紀 要

XXIX

- 経典の記憶における順序判断の諸機制
 一論文を単位とした学術情報の伝達——ワトソン・デービスと J.D.バナールの提案、シノプシス誌および電子出版——
 子ども文化の変容に関する研究——枚方市における天下町人ゲーム13年間の変容——
 道徳的判断の基本的性格と論理的統制の可能性——デューイの諸理論を中心に——
 認知活動と脳波の左右半球差—— α 波の Power density と Peak frequency について——
 高等教育の管理問題——イギリスのオックス報告(1978年)を中心に——
 教育の国際化と国際化の教育(I)——国際機関における生涯教育論の成立と展開——
 教育目標論の展開——タイラーからブルームへ——
 印象形成における情報処理過程——Person Memory を中心として——
 0歳後半期の操作行動の発達と三項関係の成立について
 対人恐怖についての一考察——TATに表わされた自己と他者を通して——
 PARAFAC と ALSCAL による SD 法データの新しい分析法——意味空間における個人差の解析に向けて——
 幼児の言語的伝達における自己中心性の問題
 乳児期から幼児期への言語行動の発達について——前言語的行動を中心に——
 バウム・テストの臨床的研究——精神科入院患者を対象に——
 「潜在空間」について——「Self心理学」に向けての一試論——
 マックス・ヴェーバーにおける「価値自由」Wertfreiheit《の意味
 イギリス学校管理における「教員参加」——英国教員組合(NUT)における議論を手がかりとして——
 「教育現実」と「教育状況」
 教育愛の存在論的根拠

京 都 大 学 教 育 学 部 紀 要 XXIX

目 次

論 文 :

経典の記憶における順序判断の諸機制……………	梅 本 堯 夫	1
一論文を単位とした学術情報の伝達……………	原 田 勝	7
——ワトソン・デービスと J. D. バナールの提案, シノプシス誌および電子出版——		
子ども文化の変容に関する研究……………	藤 本 浩之輔	18
——枚方市における天下町人ゲーム13年間の変容——		
道徳的判断の基本的性格と論理的統制の可能性……………	天 野 正 輝	37
——デューイの諸理論を中心に——		
認知活動と脳波の左右半球差……………	苧 阪 満里子	52
—— α 波の Power density と Peak frequency について——		
高等教育の管理問題……………	市 川 哲	64
——イギリスのオークス報告(1978年)を中心に——		
教育の国際化と国際化の教育(I)……………	前 平 泰 志	78
——国際機関における生涯教育論の成立と展開——		
教育目標論の展開……………	田 中 耕 治	91
——タイラーからブルームへ——		
印象形成における情報処理過程……………	池 上 知 子	109
——Person Memory を中心として——		
0歳後半期の操作行動の発達と三項関係の成立について……………	金 子 伸 子	123
対人恐怖についての一考察……………	木 村 法 子	134
——TAT に表わされた自己と他者を通して——		
PARAFAC と ALSCAL による SD 法データの新しい分析法 菅 千 索 145		
——意味空間における個人差の解析に向けて——		
幼児の言語的伝達における自己中心性の問題……………	鈴 木 敏 昭	158
乳児期から幼児期への言語行動の発達について……………	松 原 巨 子	170
——前言語的行動を中心に——		
バウム・テストの臨床的研究……………	山 下 一 夫	184
——精神科入院患者を対象に——		
「潜在空間」について……………	山 本 昌 輝	195
——「Self 心理学」に向けての一試論——		
マックス・ヴェーバーにおける「価値自由」……………	木 原 義 勝	206
》Wertfreiheit《 の意味		
イギリス学校管理における「教員参加」……………	植 田 建 男	217
——英国教員組合 (NUT) における議論を手がかりとして——		
「教育現実」と「教育状況」……………	伊 藤 一 也	230
教育愛の存在論的根拠……………	鳶 野 克 己	241

昭和 57 年度 修 士 論 文

氏 名	論 文 題 目
鈴木 公二彦	脇田良吉「低能児」教育論と白川学園の実践 ～明治末「精神薄弱児」教育における「施設教育」の成立とその性格～
築山 崇 毛利 猛	エス.エリ.ルビンシュテイン (С. Л. Рубинштейн) の発達理論と児童学 教育的<現実>の解釈学的現象学 ―教育学・学理論上の根本問題に対する M. ハイデッガーの思索の意義―
山口 和宏	沢柳政太郎論
笹尾 省二	昭和初期における青年期教育再編の動向
竹下 秀子	生後 3, 4 か月から 6, 7 か月までの乳児の保育内容に関する一考察 ―基本体位の発達連関的特徴をもとに―
中村 隆文	「陸軍と国民教化」
上田 恵津子	Objective Self-Awareness が原因帰属及び課題の遂行に及ぼす効果について
皆藤 章	境界例に関する研究
佐野 正彦	イギリスの中等教育改革の検討 ―総合制中等教育政策の歴史的形成と展開―
高橋 雅延	記憶における精緻化過程の分析 ―処理情報の違いによる精緻化の効果の比較―
豊田 園子	母と子の母親像・女性像について
森 繁男 山本 雄二	学校教育と知識・役割の性別配分 ―教育達成における「結果の不平等」をめぐって「地域社会と教育」論
渡部 容子	イギリスの初等学校における教育内容行政 教育科学省・地方教育当局・学校理事会・学校の機能をめぐって
三上 英子	男性性・女性性についての研究 ―独立次元としての男性性・女性性尺度を用いて―

昭和 57 年度 卒業論文

氏 名	論 文 題 目
街 道 小 織	及川平治論 一及川平治における教育理論と教育実践をめぐって
岸 本 実	ブルーナー (J. S. Bruner) の学習意欲論に関する一考察
斉 藤 和 義	ルドルフ・シュタイナーの教育観と人間認識
斎 藤 泰 樹	1歳児における発達の質的転換過程と指導方法に関する研究 一積木の対配分と対指示の変容過程に視点をあてて一
杉 本 均	複合社会の教育政策 マレーシアの integration とシンガポールの cultural pluralism
高 橋 則 幸	現代社会と非行
野 中 佳 代	ブルーナー [Bruner, J. S.] におけるコンピテンス観の検討
橋 本 伸 也	ペ.ペ. ブロンスキーにおける労働学校論と新たな教養概念
古 川 起 余 子	視点の変換と授受構文理解との発達の関係について 一聴覚障害児の言語能力とその指導一
松 永 直 子	大正新教育における「自学主義」の検討
本 林 純 一	精神薄弱児に対する教育方法の検討 一教科教育の可能性とその方法について一
吉 田 智 明	日本生活教育連盟の「日本社会の基本問題」確立期における問題解決学習の検討
若 本 夏 美	量の分数と遠山啓
岡 林 茂 樹	村山俊太郎論 一教師の「労働者」性の観点より一
小 川 一 樹	ユーリッヒ・フロムにおける人間論の展開について 一生産性からあることへ一
畑 利 忠	Bloom, B. S. による情意目標の Taxonomy 研究について 一内化概念を中心に
吉 田 敦 彦	個人主義と集団主義の二元対立を克服するもの 一M. Buber の<我と汝>を手がかりにして一
仙 城 真	就学期前後の教育指導論的検討へ向けて 一「道順」の描画を手がかりに一
伊 藤 香 子	空間象徴を成立させる要因について 一高校生を対象に, Grünwald の図式の横軸の要素を用いて一
川 崙 克 哲	文学における表出と表現 一主に倉橋由美子の諸作品を通して一
小 嶋 祥 代	Person Memory の実験 一第一印象の効果を中心として一
小 寺 大 也	人間の攻撃性に関する一研究 一攻撃性は生得的か一
鈴 木 明 江	病跡学の理論と応用
田 中 和 子	帰国子女の対人葛藤状況における解決様式
永 沢 晴 美	創造性とパーソナリティ 一気質及び認知様式に関して
藤 原 久 子	漢字の感覚記憶の研究

別府 哲	長さの系列化操作の獲得について 一棒の系列化と分類との関連による検討一
三野 誠登	テスト不安とパフォーマンスに関する研究
宮脇 恭子	思春期女子における自我体験の様相
山本 純子	画像の記憶 一空間情報と類似性一
吉川 眞理	ハンドテストにおける検査定義効果の研究
青木 宏	管理者養成訓練に関する研究
浅井 文和	幼児期における絵本の選択に関する発達的研究
井上 毅	心的比較判断におけるプライミングの効果について
拝野 貴弘	認知スタイルとラテラルリティの関連について
古田 誠	青年期男子における親子関係と身体像境界
村瀬 哲也	日本人の外国語学習における単語の記憶方法について
近土 康雄	言語の省略についての考察
西田 達男	フロムにおける2つの存在様式について
吉山 洋二	川端康成の自殺に関する心理学的研究
稲田 純	私立学校振興助成法および前期5ヶ年計画の私学の質的充実への寄与に関する一考察
岸田 光哉	自信をなくした家族 一日米各社会におけるしつけの比較をもとに考察する日本人のしつけ観一
近藤 順子	「ラベリングに関する考察」一非行問題の現状に寄せて一
高島 均	現代若者文化論に関する一考察
橘 陽一	京都府における障害児教育行政 一通学条件の改善と係わって一
中岡 司	公務員と労働基本権
新村 佳史	高等教育の大衆化と社会構造
西岡 明彦	「戦後日本における学芸大学構想とその展開」
原子 栄一郎	ドイツにおけるワンダーフォーゲル運動の精神的遺産に関する考察
松岡 健三	G. H. ミードの自我論について
山田 良成	社会的垂直移動への一考察 一現代日本における移動型一
笠嶋 基嗣	学歴社会と人間形成
土田 智美	子どもの読書環境
米島 孝二	「養護学校義務制化の意義」一憲法・教育基本法の理念よりの検討
山村 滋	イギリス中等教育の試験制度における教員参加 一その運用と教員の自律性に関わって一

編集委員	本山幸彦	天野正輝	坂野登
	森口兼二	兵頭泰三	
編集員	前平泰志	田中耕治	苧阪満里子
	倉光修	架場久和	市川哲

昭和58年3月24日 印刷

昭和58年3月31日 発行

著者並
発行人 京都大学教育学部
代表者 梶本泰一

印刷所 株式会社 文功社
京都市南区上鳥羽南唐戸町103

発行所 京都大学教育学部
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

XXIX

Contents

Mechanisms of Order Judgments in the Memory of Buddhist Text	UMEMOTO Takao
Separates as a Medium of Scientific Communication: Micro-publishing, Synopsis Journals and Electronic Publishing	HARADA Masaru
A Study of Changes in the Pattern of Child Culture—Changes in the <i>Tenka Chōnin</i> Game in Hirakata City over the Past Thirteen Years	FUJIMOTO Kōnosuke
On the Fundamental Character and the Possibility of Logical Control of Moral Judgments in Dewey's Theories	AMANO Masateru
Cognitive Activity and EEG Hemispheric Asymmetry—Power Density and Peak Frequency of Alpha Waves—	OSAKA Mariko
The Problems of Management of Higher Education in the Maintained Sector	ICHIKAWA Satoshi
L'internationalisation de l'éducation et l'éducation de l'internationalisation (I) —L'élaboration et la mise en place du concept de l'éducation permanente dans les Organisations Internationales—	MAEHIRA Yasushi
The Development of the Theory of Educational Objectives—From R.W. Tyler to J.S. Bloom—	TANAKA Kōji
Information processing in Impression Formation —Problems in Person Memory—	IKEGAMI Tomoko
The Development of Manipulation and the Formation of the Triad Relation in the Second Half-Year of Life	KANEKO Nobuko
On Anthropophobia—An Analysis of Self and Others in TAT—	KIMURA Noriko
New Methods of Analysis of Semantic Differential Data by PARAFAC and ALSCAL—Toward the Analysis of Individual Differences in Semantic Space—	SUGA Sensaku
Egocentrism in Children's Verbal Communication	SUZUKI Toshiaki
The Development of Speech Acts during the First Two Years of Life	MATSUBARA Hiroko
A Clinical Study of the Tree Test with Psychiatric Inpatients	YAMASHITA Kazuo
'Potential Space'—An Essay on Object-Relating; toward a Theory of 'Self-Psychology'—	YAMAMOTO Masateru
Der Sinn der „Wertfreiheit“ bei Max Weber	KIHARA Yoshikatsu
„Teacher Participation“ in English School Government	UEDA Takeo
„Erziehungswirklichkeit“ und „Erziehungssituation“	ITŌ Kazuya
Über den ontologischen Grund der pädagogischen Liebe	TOBINO Katsumi

The Faculty of Education, Kyoto University

March, 1983